

コラム記事

テレビや新聞、インターネットニュースなどで日々、不正アクセスの被害が報告されています。

被害を受けた企業の規模や業種も様々な中、厚生労働省のメールサーバーへの不正アクセスに関する記事が掲載されておりましたので、ご紹介いたします。



厚労省のサーバー経由で約 10 万件の迷惑メール送信 メール中継サーバーに不正アクセス

(TBS NEWS DIG 2023/5/29(月) 17:02 配信 より引用)



(TBS NEWS DIG より引用)

厚生労働省のメールのサーバーに不正なアクセスがあり、およそ 10 万件の迷惑メールが送信されていたことがわかりました。

厚労省によりますと、おととい夜からきのう夜にかけて、厚労省のメールサーバーを経由して、第三者からおよそ 10 万件の迷惑メールが送信されました。

迷惑メールには、英語で投資を呼びかけ、個人情報を求めるような内容が書かれていて、海外の宛先を中心に送られていましたが、厚労省に関する情報の漏洩は起きていないということです。

海外からサーバーに不正にアクセスされたことが原因とみられ、厚労省は「システムの事業者に再発防止の徹底を求める」などとしています。



このような事例は日々増加傾向にあります。不正アクセスやそれに伴う被害については、現状では起きてから発覚するパターンがほとんどだと認識しております。

企業としてのセキュリティ対策はもちろんですが、個人間でのセキュリティに関する知識を増やすことも対策の1つだと思うので、テレビや新聞、WEB ニュースなどから情報をいち早く得ることが大切であると考えています。